

平成28年度第3回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成28年12月9日(金曜日)林野庁入札室			
委員		前原一彦(公認会計士) 水上博喜(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		平成28年7月1日～平成28年9月30日			
審議対象案件		56件	うち、1者応札案件 13件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件		
抽出案件		5件 (抽出率 9%)	うち、1者応札案件 1件 (抽出率 - %) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 - %)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	業務	一般競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		物品・役務等	一般競争	4件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	指名競争		- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	随意契約(企画競争・公募)		2件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	随意契約(その他)		- 件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	(特記事項) ・抽出の5件については、落札率が低い契約、1者応札で落札率の高かった契約等を抽出した。				
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)		
回答等 (詳細に記述すること。)					
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		□ □			

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 〔抽出番号1：森林吸収源インベントリ情報整備事業「森林経営」対象森林率調査（近畿ブロック）〕</p> <p>・入札した3者で、落札した事業者の入札金額が他の2社の入札金額の半分くらいであり、安く入札した理由は聞いていますでしょうか。</p> <p>・特に問題なさそうだったのでしょうか。</p> <p>・落札した事業者と他の2社を比較して調査に要する人工数は同じくらいなのでしょう。</p> <p>・地元の事業者が入札に参加すると入札価格が低くなるものなのでしょう。</p> <p>・他のブロックを見てみると、だいたい落札価格が低いと思いますが、予定価格が高いのではないのでしょうか。</p> <p>・プロットの調査にはどのくらいの時間を要するのでしょうか。</p>	<p>・個別には伺っておりませんが、近畿ブロックの調査に関しましては、落札した事業者は京都に本拠があり、調査にかかる旅費の見積もりが低く、1日当たり複数個所の調査が可能な場合も多いと考えられます。また、人件費や間接費も低く見積もられており、再委託もしていないこともありますので、これらを総合的に考慮した結果、低価格で入札できたと考えています。</p> <p>・昨年度もこちらの事業を受託しておりますけれども、その際にも当初の予定通り実施しております。</p> <p>・委託事業計画で比較した場合ですが、事業費に対する人件費の割合が落札した事業者は8割程度ですが他の2社は5割程度の積算となっており、落札した事業者は人件費以外で経費節減をしていると考えています。</p> <p>・やはり地元で仕事をすることの強みはあると考えますが、再委託をしないことも強みの一つと考えています。</p> <p>・昨年の実績も考慮しながら予定価格を積算しており、前年より予定価格は低くなっております。</p> <p>・1プロットを2人で調査し、プロットが近ければ1日に2か所とかいう場合もあります。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・実際にプロットの調査はどのようなことをするのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査現地に0.04haの円を設定し、その中の立木の本数や直径、樹高を測定する作業を行い調査野帳に記載していきます。
<p>〔抽出番号2：森林域における航空レーザー計測業務（Ⅳ）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空レーザー計測業務（Ⅳ）が抽出案件ですが、資料ではⅠ、Ⅲ、Ⅳがあるのですが、Ⅱはどのようなになっているのでしょうか。 ・航空レーザー計測業務（Ⅰ）、（Ⅲ）、（Ⅳ）についてそれぞれ予定価格が違うのは実施面積の違いでしょうか。 ・応札している3社の入札価格は、予定価格の6割から7割程度であり、予定価格はどこかの会社の価格を参考にして予定価格を決めたのでしょうか。 ・今回の発注で被災地は一応網羅されてるのでしょうか。 ・事業内容として、飛行機で上空を飛び写真を撮り、その写真を解析するという簡単なイメージをもっていますが、結構、時間がかかるものなのでしょうか。 ・待機的なコストも考えるたりすると結構人工数が必要でデータ解析のほうもある程度マンパワーが必要なのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空レーザー計測業務（Ⅱ）については、入札公告しましたが、その後に他の機関で同様の業務が発注されており、契約済みの情報を得たため、入札の執行を取りやめました。 ・そのとおりです。 ・5社から参考見積として単位当たりの単価を徴取し、平均値を使って予定価格を積算しています。 ・最初に発注した震度6弱以上のところを対象にしていたが、今回は震度6弱を記録してはいないが崩壊等が多く発生している箇所について実施しています。 ・時期的なものもありますが、天候により計測できないことがあり時間を要することがあります。 ・地形解析図と航空写真を見比べながら目で見て判読するので、かなりの時間を要します。
<p>〔抽出番号3：平成28年度林野庁施工パッケージ型積算システムの購入〕</p>	

<p>・このシステムはどのような内容なのでしょう。</p> <p>・落札価格からすると予定価格が高すぎるような気がするのですが、予定価格の積算はどのように行ったのでしょうか。</p> <p>・同じシステムを事業を実施する事業者が独自に入手した場合、予定価格が自動的に判ってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>・今までの積算は、歩掛を使用しての積み上げ方式で予定価格を積算していましたが、施工パッケージ型方式は、東京の単価を使用して、東京の単価に対する全国のそれぞれ工事箇所比率を掛けて積算するものであり、積み上げ方式の歩掛を使ったものから、簡易な方法で合理化を図る意味で導入することになりました。</p> <p>・5社から参考見積もりを徴取し、その結果、異常値であった上と下を除いた3社の平均値としています。</p> <p>・同じシステムを入手しなくてもシステム自体の仕組みとしては、どのシステムでも同じ結果が得られます。また、現在の積み上げ方式についても一般的に公表されているので、同様の結果を得られますが、それは直工費で工事自体にかかるものであり、間接費については事業者によって異なるものとなります。</p>
<p>〔抽出番号4：平成28年度山地保全調査（水源森林保全調査・有明海等の閉鎖性海域と森林に関する調査）委託事業〕</p> <p>・落札できなかった事業者の入札価格が高いのですが理由は解るのでしょうか。</p> <p>・事業の内容は特殊で難しいものではないと思いますが、入札参加者が少ないと思うのですが如何でしょうか。</p> <p>・調査の内容はどのようなものなのでしょう。</p>	<p>・その事業者は今回の事業に類似する業務をあまり実施されていないところだと考えています。</p> <p>・入札公告・内容等も比較的入りやすい内容にはなっておりますし、事業内容もそれほど難しい業務ではないと考えておりますが、3社が参加してくれただけでも良いと考えています。</p> <p>・有明特措法に基づき、森林と海域との関係を調査するものであり、森</p>

		<p>林から海域へ物質がどれくらい流れているかを調査する内容です。</p>
	<p>〔抽出番号5：平成28年度都市の木質化等に向けた新たな製品・技術の開発 ・普及委託事業（CLT等接合部データ収集）〕</p> <p>・落札して事業者はどのような業務をしているところなのでしょうか。</p> <p>・他にもこの事業を実施できる事業者は有るのではないのでしょうか。</p> <p>・免震や耐震はコンクリート或いは木材どちらが良いのでしょうか。</p> <p>・この事業の内容からすると比較的基礎研究的なイメージを持ち研究を専門的に行っている事業者が入札に参加すると思ったのですが、落札した事業者はそのようなイメージの会社ではない気がするのですが如何でしょうか。</p> <p>・直接人件費に対して直接経費が大変多いと思うのですが如何でしょうか。</p> <p>・CLTで建物が建つのは何年ごろでし</p>	<p>・グループ会社ですが、その中でも土地の有効活用ですとか賃貸住宅の設計・施工について業務をしているところとなります。</p> <p>・今回この事業者を選考したのは、CLTを使用しての免震技術という提案이었습니다。鑑みますと、免震ができることによって中高層のビルに発展していく可能性があり、例えば、個人病院などで、治療中に地震があった場合に手元が狂って万が一のことがあるので、免震であればそれが軽減されることもあることから、需要が見込める開発をしたいということからであり、提案内容を採択したという経緯になっています。</p> <p>・コスト的にコンクリートと比べるとCLTのほうが安くできるのではないかとこのところ、今、研究開発を行っております。</p> <p>・今回は接合部やCLTを普及していく上での技術開発という位置づけで提案を募集をし、落札した事業者が免震課題として使うやりかたがあるとの提案から、その提案内容を審査しまして、これは素晴らしいということで、採用したということになります。</p> <p>・主には役務費の試験設計費になります。</p> <p>・建物自体はすでに建ってます。</p>

	<p>ようか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特別許可での建築でしょうか。	<ul style="list-style-type: none">・ 大臣認定が必要だったのですが、今年の春、建築基準の告示で解消されまして、通常に建築することが出来ます。
	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 委員会としての意見はなし。	